

< 投入表の見方 >

- (1) 投入表は、取引基本表の列（タテ）方向の計数を記載したものであり、列部門の財・サービスを生産するために、どの行部門の財・サービスをどれだけ投入し、どれだけの粗付加価値が産み出されたのかを示している。
- (2) 行部門の商業及び運輸について、特殊符号 6 及び 7 の付されていないものは、コスト商業^{*1}及びコスト運賃^{*2}を示している。
- (3) なお、取引ごとの商業マージン及び国内貨物運賃の内訳の計数については産出表に示している。
- (4) 投入係数とは、列部門の国内生産額に対する行部門の取引額の比率である。

〔投入表の様式〕

投入表 （単位：100万円）

	列符号・名称 行符号・名称	生産者価格			購入者価格	
		取引額	投入係数	輸入（内数）	取引額	投入係数
列部門	×××× - ××					
	×××× - ××× }					
中間投入	×××× - ××× - 2					
	×××× - ××× - 5 }					
粗付加価値	9099 - 000 内生部門計					
	×××× - ××× }					
	9500 - 000 粗付加価値計					
	9700 - 000 国内生産額					

特殊分類コード

- 2: 屑投入
- 3: 屑発生
- 4: 副産物投入
- 5: 副産物発生
- 6: 商業マージン
- 7: 国内貨物運賃

注：部門名称は一部省略表示している。正式名称は部門分類表を参照のこと。

^{*1} コスト商業

生産過程における直接的な費用であり、通常の流通経費とは区別される。

例：商品の輸出業務に関連する外国商社代理店のサービスに対する支払いや中古品の流通に係る取引手数料など。

^{*2} コスト運賃

生産過程における直接的な費用であり、通常の貨物運賃とは区別される。

例：廃土砂や廃棄物等の無価値物の運搬に係る費用、郵便物や引越荷物の運搬費用、あるいは、中古品の運搬費用など。